

「新庁舎の機能を考える市民ワークショップ」 開催結果

1. 市民ワークショップ開催結果概要

全5回にわたりグループ討議等を重ね、各グループにおいて参加したメンバーが様々な意見・提案を出し合い、新庁舎建設に向けて市民意見をまとめました。

【第1回】

日 時：平成27年7月22日（土） 13:00～15:00

場 所：総合福祉会館 3階集会室

議題等：

- ワークショップについて
 - ・これまでの経過
 - ・ワークショップ開催の目的
 - ・ワークショップの進め方
 - ・自己紹介
- グループ会議
 - ・新庁舎に期待すること



自己紹介とWSに望むことなどを参加者一人ずつ発表しました。



3班にわかれ、テーマにそって意見を付箋に記入し、班ごとに整理しました。

【第2回】

日 時：平成27年8月3日（月）及び8月7日（金） 13:00～15:30

場 所：本庁舎4階大会議室(東)

議題等：

- 現庁舎見学
- 意見交換
 - ・現庁舎の課題



議場や議員室、屋上をはじめ、各フロアを視察しました。



見学後、現庁舎の課題や提案などについて意見交換をしました。

【第3回】

日 時：平成27年8月22日（土） 13:00～15:00

場 所：産業文化センター 2階第3会議室

議題等：

- 事例紹介
- グループ討議
・市民にやさしい庁舎を考えよう！
- 発表



バリアフリーや、工夫された窓口などについて事例を紹介しました。



「わかりやすい案内」「市民にやさしい窓口」「ゆとりある待合スペース」について意見交換及び意見の整理をしました。

【第4回】

日 時：平成27年9月5日（土） 13:00～15:00

場 所：産業文化センター 2階第3会議室

議題等：

- 事例紹介
- グループ討議
・市民に安心・安全な庁舎を考えよう！
- 発表



市民が安心して利用できるトイレや階段、EVなどの事例、また地域の特性を活かした庁舎の事例を紹介しました。



「市民が誇れる、訪れたいくなる庁舎」「安心して安全に利用できる庁舎」について意見交換及び意見の整理をしました。

【第5回】

日時：平成27年9月26日（土） 13:00～15:00

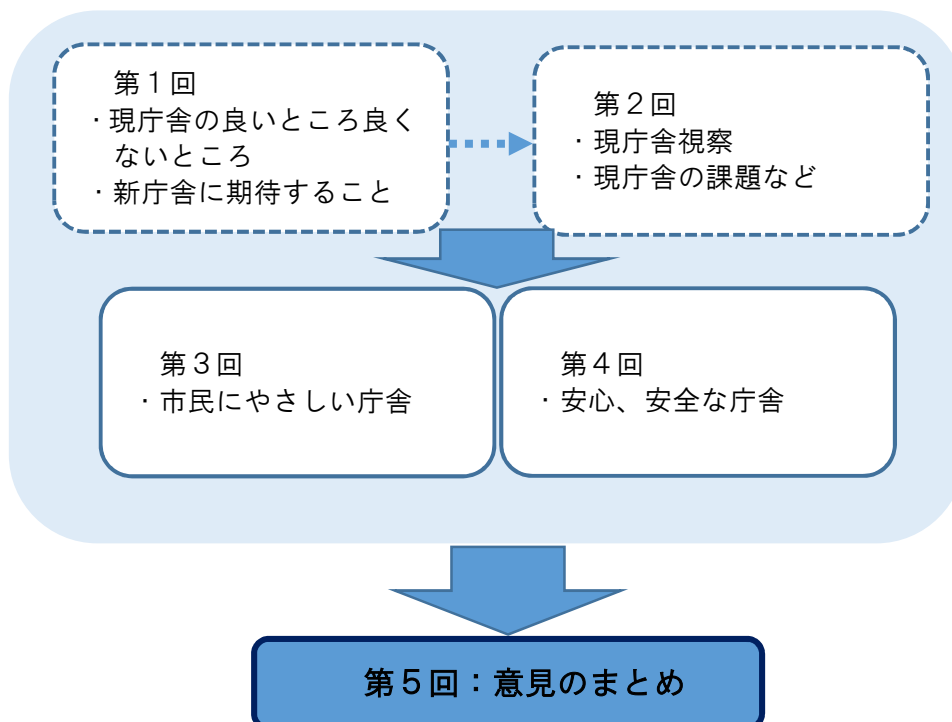
場所：産業文化センター 2階第3会議室

議題等：

- 前回のふりかえり
- グループ討議
 - ・意見のまとめをしよう！
 - 1班：市民が誇れる庁舎
 - 2班：市民にやさしい庁舎
 - 3班：市民に開かれた庁舎
- 発表及び意見交換
- 感想など



第5回市民ワークショップでは、3班に分かれ、第1回から第4回までに出された意見や提案、アイデアなどについて、それぞれテーマごとに意見の集約を行い、以下の通り整理しました。また、班ごとの発表の際に意見交換を行い、意見やアイデアの追加をしました。



2. 意見のまとめ

■市民が誇りに思い、魅力あふれる新庁舎

何があってもびくともしない日本一の庁舎

～市役所は各務原市民の中核なので、どんな災害にもびくともせず、市役所としての機能が果たせるような庁舎に！～

- ◇災害時にも強い庁舎とする
- ◇市民の避難場所にせず、市役所としての機能を果たせるようにする
- ◇自家発電を取り入れてほしい
- ◇50年～100年先も残る庁舎
- ◇恒久的なデザインがよい

市民の意見をふまえ、明るく出入りしやすい庁舎の設計を！

～基本設計、実施設計の際には、市民の声を反映させる～

- ◇庁舎の設計、デザインはコンペなどで、必ず盛り込むべき提案等を踏まえて行う。その際は、市民の意見を取り入れる、聞くこと（子どもや若い人の意見も必要）
- ◇市民の意見を設計の条件とする。例えば、防音はしっかりと（コスト面の工夫も）、全体的に明るく、出入りしやすい庁舎など
- ◇防音はコスト面も考えて、できる限りの対応をしてほしい

各務原の雰囲気にあったゆとりある庁舎

～庁舎の周辺や執務室も含め、ゆとりのある空間とする～

- ◇樹木や花壇などを設け、ゆったりとした空間のある庁舎
- ◇花壇などは市民のボランティアなどで対応
- ◇特徴をだし、シンボリックな建物とする
- ◇各務原らしさといえば航空産業のイメージ
- ◇各務原の特産品を販売するスペースを設ける
- ◇自然の光や自然の風も通るような空間デザイン（例：昼休みも明るい方がよい）
- ◇LEDを取り入れる
- ◇市の情報コーナー、カフェ（ちょっとよれる感じ）を設ける

機能を集約、そして利便性のある人的配置も！

～市民活用が多い機能は集約し、サービスの充実を図る～

- ◇公共機能の重要なものは集約されている庁舎がよい
- ◇関係する機能はまとまっているとよい
- ◇受付窓口のサービス向上を目指す
- ◇利便性のある人的配置
- ◇ATMがあると便利だが、庁舎内では面積をとるので外にまとめてあるとよいのではないか（休日でも利用可）
 - セキュリティの面も踏まえて検討すべき
- ◇人感センサーは取り入れてほしいが、ある程度の明るさはあった方がよい

■市民にやさしい、利用者の立場を考えた新庁舎

バリアフリーに配慮したトイレ

～誰もが使いやすい、利用する人に配慮したトイレに～

- ◇可能であれば、各フロアに多目的トイレを配置する
- ◇男子トイレにも荷物置き場を取り入れてほしい
- ◇子ども用は着脱式の補助便座があればよいのではないか
- ◇フックの高さも使いやすい高さに（あまり高くないところに）
- ◇あまり高機能にはしない

安心、やさしい移動手段

～安心して使える階段、利用者にやさしいエレベーター、エスカレーターに～

- ◇階段の手すりは両側に高さを変えて2段に配置
- ◇1～2階にはエスカレーターもあると良い
- ◇エレベーターは外から見えるように（全部の階でなくても良い）
- ◇エレベーター、エスカレーターには音声案内をつける
- ◇エレベーターは車椅子の向きを変えないで良いものにしたい
- ◇高齢者だけではなく、乳幼児にもやさしいものにする

移動しやすい空間

～全体的にバリアフリーを徹底し、移動しやすい空間にする～

- ◇庁舎全体、車いすやベビーカーが通りやすい通路にする
- ◇床材なども配慮をする
- ◇これからのモデルになるように
- ◇荷物が多くなっても外に出しておくことがないよう、設計段階でしっかりと収納スペースを確保する

落ち着いて相談ができる窓口

～利用しやすく、プライバシーが確保された窓口～

- ◇相談がゆっくり落ち着いてできる場所を確保する
- ◇福祉関係の部署を1階中心に！
- ◇証明書等は支所等で対応できる
- ◇健康、子育て、高齢者の関係がこれから増えると予想されるので、この関係課をまとめて配置する
- ◇税務関係は2階でも良い
- ◇市民利用の多い課を1階、2階に配置する
- ◇福祉関係の課のある階にはキッズスペースを設ける

わかりやすい案内

～誰にとっても分かりやすい案内のシステム～

- ◇文字の大きい、わかりやすい案内表示
- ◇視覚的にも分かりやすい、番号案内などの呼び出しシステム
- ◇総合案内は入口から見える場所に
- ◇案内の人の数を増やしてほしい。OBの活用も考えられる
- ◇どこから入ってきても見えるように配置する

■市民が訪れやすい、開かれた庁舎

市民も気軽に活用できる庁舎

～みんなが集まりやすく、使いやすい庁舎～

- ◇多くの人の目につく1、2階部分に、窓口だけでなく、会議室や展示として市民の方々が利用できるスペースを設ける
- ◇住民の方が申込みなどしなくても利用できる簡易的なスペースをもつ
- ◇いこいの場所としての庁舎

オープンなイメージの庁舎

～建物も運営もオープンに～

- ◇視覚的にさえぎるものを減らし、書類等を整理したクリアなイメージのもてる配置で統一する
- ◇運用面でオープンな庁舎
- ◇議員席と傍聴席を1つの平面に配置し、バリアフリーにも配慮した明るい議場
- ◇職員と市民のバリアをなくすような工夫をする（施設の配置や人的配置など）

訪れやすい、入りやすい庁舎

～親しみやすいスペースのある庁舎～

- ◇待合室に自販機を置く（喫茶室・コンビニ）などの少し休めるようなスペース、飲食のできるスペースを、1階、2階の低層部に配置する
- ◇コミュニティセンターとの棲み分け
- ◇居心地のよい待合スペースを設置する
- ◇自分の待順が分かるような（フードコートの機械など）

使い勝手のよい駐車場

～駐車場の利用の方向性も考える～

- ◇200台駐車できるスペースを確保する
- ◇庁舎の近くに確保する
- ◇障がい者の方への配慮をしっかりとる
- ◇これからはドライバーが減っていくことも想定し、その時代にあった利用方法に転換できるよう設計段階で検討するのもよいのではないか